

---

第7回 福祉のまちづくりモデル地区推進部会 議事録

平成21年8月21日 14:30～16:10 中央区役所 3階 302会議室

出席者（敬称略）：三浦(部会長)、阿部(桜木小学校)、石井、大森(代理)、河合、國島、佐々木、柴崎、田口、長根、平野、宮部

桜木小学校：伊澤、秋永

関係団体職員：さいたま市社会福祉事業団 船戸 さいたま市社会福祉協議会 高野、山内

市関係課：交通企画課 古市

事務局：福祉総務課 谷澤、榎本、手塚

---

- 【次第】
- 1 開会
  - 2 議事等
    - 1) モデル地区推進事業の位置づけと21年度のスケジュール
    - 2) 大宮駅西口のバリアフリー展望
    - 3) 桜木小学校での展開
    - 4) 取り組み体制の具体化
  - 3 その他
  - 4 閉会

【内容】

- 1 開会
  - 2 議事等
    - 1) モデル地区推進事業の位置づけと21年度のスケジュール
- 事務局 資料確認  
資料1、資料2の説明（省略）

三浦 ありがとうございます。ご質問、ご意見を伺う前に補足説明させていただきます。「モデル地区推進事業の位置づけと21年度のスケジュール」の議題をあえて立てさせていただきました。それは、「さいたま市福祉のまちづくり推進協議会」というものが母体として上にありまして、その下にこのモデル地区推進部会と交通バリアフリー部会があり、この二つの部会があって動いているのが本来の構造ということです。そして、このモデル地区推進部会は交通バリアフリー部会と無関係ではなく、来年度も含めたモデル地区の5ヶ所は、「さいたま市交通バリアフリー基本構想」の重点整備地区である浦和駅、大宮駅、そして来年度予定の北浦和駅周辺を対象としています。これは、現行の「さいたま市福祉のまちづくり推進指針」で方向付けされているという関係です。

先ほど資料2で事務局から説明がありましたが、本日の部会を迎える前に、私と事務局と市社会福祉協議会、市社会福祉事業団などの関係機関にも協力をいただきながら、桜木小学校との打合せを先行して行わせていただきました。それは、昨年度の大宮小学校とのモデル地区推進事業を終えた後の、3月のモデル地区推進部会での振り返りとご意見の中で、学校の授業にあまり依存したモデル地区推進部会、モデル地区推進事業のあり方というのは、いかがなものかという反省もあったからです。また、桜木小の先生方の中にも多少のとまどいがあったように伺っておりますので、こちらから事業の趣旨をあらためてご説明すると同時に、議題の2で取り上げたような大宮駅西口周辺の区画整理や工事の状況の確認であるとか地域の諸団体との連携の問題なども、市の事務局の方から積極的に行っていくべきで、学校任せにすることではないだろうということで準備をしてきました。昨年度も大宮駅東口駅周辺の区画整理などもありましたので、そういう情報を小学校にもお伝えしながらコースを設定すればよかったと思ったりしましたので、今

年度はこのような流れを組んだわけです。

最初にモデル地区推進事業の過年度の動きについて説明がありましたが、われわれのモデル地区推進部会を構成している根拠となっている「さいたま市福祉のまちづくり推進指針」そのものが5年を経過して改正となります。その改正期が平成22年度までですので、23年度からの新しい「さいたま市福祉のまちづくり推進指針」を作らなければなりません。これまで高砂小学校から今年度で4校目を終えるわけですけれども、一方で、さいたま市の「総合振興計画」ではその先も小学校とのモデル地区推進事業的な事業を継続しましょうという施策が出されております。その辺も多少、頭に入れながら、これまでは駅周辺の小学校ということでやってきましたが、今後もそれで行くのか、それとも郊外の小学校とか住宅地の小学校とか、そういったところも視野に入れてやっていくのか、それらをモデル地区推進部会の方で考えながら「さいたま市福祉のまちづくり推進協議会」の方へご提案していかなければいけないという課題があるということです。

少し長くなりましたが、ご意見、ご質問等ありましたらどうぞ。……ないようですので、続いて、議題2の「大宮駅西口のバリアフリー展望」の説明をお願いします。

## 2) 大宮駅西口のバリアフリー展望

事務局 資料3-1、3-2、3-3、3-4の説明(省略)

三浦 ありがとうございます。では、交通バリアフリー部会の事務局をしていただいている交通企画課の古市さん、それに委員としてJR東日本の方にきていただいておりますが、関係の方から何か補足がありますか。

交通企画課 特にありません。もしご質問があれば、知る範囲でお答えいたします。

三浦 では、ご質問等があれば、いかかでしょうか。……5月に行われた推進協議会での意見が取り上げられて大宮駅周辺でのピクス式信号機が実現しそうということになりました。「さいたま市福祉のまちづくり推進協議会」をやってきて、このスピードで成果が現れるということは、年々積み上がってきた成果であろうと思います。部会の方もかつての小学校との取り組みで、子どもたちの気づきによってまちづくりが動いたという事案もありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

長根 ピクス式信号機は、いわば、ものをいう信号機というものです。実際に聞いたことがない方にはわかりづらいと思いますので、少しご説明します。私たちが杖を持って歩いていて一番いつてほしいことは、「信号機は赤です」、「信号は青に変わりました」ということです。普通の信号機はそれをいわないのです。ただ「渡ってもいいよ」という音楽が流れるだけ。これは皆さんも体験されていてわかっていると思うのですけれども。ピクスは、「信号機は赤に変わります」、「信号機は青に変わります」、「信号機の先は県庁方向です」などといってくれるのです。こういったものが、浦和には既に付いていたのですが、大宮にはないということを申し上げましたら、早速対応していただきました。視覚障害者協会の会長として感謝しております。それだけ報告を申し上げたいと思います。

三浦 はい、ありがとうございました。他にご質問等があればいかかでしょうか。

石井 気がついたことがあります。まだ8時前なのですが、市営の駐輪場が満車です。JACK大宮のところですか、この資料の3-2に桜木南保育園というのがあるのですけれども、その保育

園の北側と西側にも駐輪場ができていますが、早い時間から満車であるということは、どのくらいの利用があって、量に対しての計画がなされているのかということを確認願います。デパート前にもありますが、利用できないときがあります。一時預りで利用しようとしたときに、早い時間から満車になってしまっていて、右往左往してしまいました。

もう一点は、個人的な意見が入ってしまうかもしれませんが、桜木南保育園に送迎される方が駐車されます。ちょうど今は整備中ですので車や人の出入りも多く危険を感じます。今後そういう整備計画が入ってきたときにどこかに案として考えていただける余地があるかどうか。市で場所を確保するというようなことも含むのかもしれませんが。

三浦 直接の担当は、駐輪場は都市施設課ですか。それから、桜木南保育園は市立ですよ。区画整理事業の中でどういう位置づけになるのかどうか、建て替えになるのかもかもしれませんが、質問として承っておくことでよろしいでしょうか。

事務局 そういうお話があったことを担当課所に伝えておきます。

佐々木 資料1の一番左下のところなのですが、200人という目標値は、どういう方たちのことでしょうか。5月の会議にはたいへん多くの出席者がいて圧倒されたのですが。

三浦 これはモデル地区推進事業の目標値ですから、例えば小学校の児童、事業にご協力いただく市民の方だとか、福祉の学びを体験する方の人数で、委員等の人数ではありません。

それでは、今日のメインになるかと思うのですが、桜木小学校の先生方にもお時間を割いて来ていただいております。議事の3「桜木小学校での展開」以下の部分ということで、今年度の主たる取り組みに関する議事に入りたいと思います。今、資料を追加でお配りしておりますが、こちらは桜木小学校の担任の先生方にお作りいただいた学校のカリキュラムをコピーしたものです。先ほど事務局から説明した資料2の縦型のカレンダーの、桜木小学校の欄で9月、10月、11月、12月の部分が黒枠に囲まれて空欄になっていますが、ちょうどこの部分に入ります。では、ご説明をお願いします。

### 3) 桜木小学校での展開

#### 4) 取り組み体制の具体化

桜木小 追加資料の説明(省略)

三浦 ありがとうございます。とても意欲的なカリキュラムを組んでいただいたと思います。最初に私から質問させていただきたいのですが、具体的に日付が入っていますが、変更は可能ですか。

桜木小 1月26日は学校公開日ですから決定です。他の日の変更は不可能ではありません。

三浦 ただ、学校の行事の都合などもある中で組んでいただいたので、できるだけこの日程案に沿えればと思います。まず、ご説明を聞いていただいて、これまで3校でともに学ぶ取り組みをしまし、それらを踏まえてご質問、ご意見など伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

宮部 私は、手をつなぐ育成会なので知的に障害がある子の親です。いつもモデル地区部会では話をさせていただいているのですが、知的に障害のある方への対応が入っていないのです。それについてはどのようにお考えなのでしょうか。

桜木小 本校は特別支援学級がありますので、普段から接しています。もし、そういうお話があれば取り入れさせていただきたいと思います。ここでは、おおよその流れを書かせていただいているだけですので。

宮部 私がお話したかったのは、この中に知的障害のある子どもを載せていただきたいというのではなくて、共通の理解として知的に障害のあるということはどういうことなのかということ子どもたちにわかっていたいただきたいということです。これまでのモデル地区部会の学校の取り組みは、どちらかというまちを歩いたことによって、施設に対するハード面でのバリアフリーの取り組みが大きなところを占めています。知的に障害のある子の方はどちらかという、ソフト面、つまりハートの部分だと思うのです。まず障害のある人のことを理解した上でハードの方に行くのではないかという気持ちがあるのです。小学校5年生ですからもうある程度、大人の感覚をお持ちだと思います。これから大人に向かって行く子どもたちに対してハートの部分を伝えて行くことは大事だと思います。知的に障害があるというのはどういうことなのか、本人は一生懸命やっているのだけれども、やってもかなわない。本人は頑張っているのに悲しい思いをして、つらい思いをしている。そんなとき、周りの友達としてどうしたらいいのかを学ぶことは大切なことだと思うのです。ただ現実的にこの部会の学校のカリキュラムに盛り込むのは大変だと思います。私たちも本人を連れて行くのは本人にも負担をかけることもあるので、私が話をさせていただくという形なら協力できます。ご検討いただけないでしょうか。

三浦 貴重なご意見ですので、具体化していけたらと思うのですが、今日お示しいただいたカリキュラムを見ると、オリエンテーションから入って5つのセクションから成っています。「ふれる」、「つかむ」、「追究する」、「追究する」、「広げる」と。疑似体験などのやり方の中で、理解力の難しさ、子どもたちが感じる疎外感とかを体験できるような学習、そういうゲーム型の学習のプログラムを聞いたことがありますけど。そういうものをご紹介いただくとか。一番可能性があるのは、追究するの3の「共に生きるために」のところ、ここで宮部委員にもご協力いただければいいかでしょうか。障害のある方のお話というところで、学校が考えられたのが身体障害とか体の不自由な方がメインですけれども、知的障害のある方、生まれ持ったの障害だけでなくて事故での機能障害の方もいらっしゃいますし、様々な障害の方がいらっしゃいますから、9月30日をどのようにするか、子どもたちからのインタビューなのか、当事者や関係団体の方の話を聞くのかわかりませんが、ご協力いただければいいかと思います。

宮部 大事な部分だと思いますので、ご協力させていただきたいと思います。学校でも色々なことを考えていることでしょうし、時間の兼ね合いもあるでしょうから、その辺をご検討いただければいいかと思います。

三浦 他にございませんでしょうか。

長根 先ほどのお話の中で、大宮駅にもご協力をいただけるかどうかというのがありましたが、今までにはなかったことです。どうしても自分の立場でものをいってしまいますが、視覚障害者としては、駅の利用で子どもさんたちに知っておいてもらった方がいいと思うことがいくつかあります。現実には、駅の方に協力してもらえますか。

三浦 昨年、大宮小学校で歩いたときに、駅のコンコースを券売機までは行ったのです。使いやすさを検証したりしたのですが、駅員の方には対応いただけていないのです。駅員の方にお話を聞く機会が持てるかどうかですね。

長根 一番体験してもらいたいのは駅のホームなのです。ホームを歩いていて、ホームの点字ブロックを超えて転落してしまうことがたまにあるので。ホームを歩くことは大変なのだとか、転落する危険性がないようにとかを、子どもさんたちにわかてもらいたいと思っています。それには、ホームに入れてもらうなど駅の協力ができないことですが。

三浦 即答は難しいかと思しますので、ご意見として聞いておいていただきたいと思います。

河合 関連しますが、昨年、駅員さんのところに2人の児童が行きましたが、子どもには少しわかりづらい対応であったように思います。せっかく、子どもが質問を持って聞きに行ったのに少しかわいそうだと思います。連絡をして伝えてほしいと思います。

三浦 はい、ありがとうございました。こういう事業があって、市と学校と地域と一緒に動いているということを駅にもご理解いただいて、職務に影響のない範囲でご協力いただきたいと思います。

他に、ございませんでしょうか。

河合 それと、スケジュールの問題ですが、私たちの会としましても人選が必要ですから、スケジュールを確定してほしいと思います。

三浦 はい、わかりました。他にはいかがでしょうか。

船戸 冒頭、三浦部会長から、昨年までは学校に依存する度合いが大きかったという話があり、私もそれを感じていました。今年は学校と、どう連携していったらいいのかということを頭に置きながらやってきました。ご提示いただいたカリキュラムはたいへん時間をとっていただき、今までにない内容になっていると思います。子どもたちと一緒にいろいろなことができるのではないかと可能性を膨らませている状況です。今までお話いただいたことを全て学校のカリキュラムの中でできるのかという心配はあるのですが、もし、学校のカリキュラムの中で難しかったら、学校と完全に切れるということではなく、モデル部会が、学校ではできない時間帯や地域で、土日でもいいのですが、例えば駅なら駅をそのときにやるということを考えれば、学校の負担も少なくなるのではないかと思います。いい流れを作っていただいているのですが、このカリキュラムの中に全て盛り込もうとすると盛りだくさんになってしまう可能性がありますので、どこかで調整をする必要があるのかと思います。別な形でもいいですから、そこに先生方や子どもたちも、地域の方も入っていただくことがあっていいのかと思いました。課題はたくさんあるのですが、例えば駅の中や区画整理事業の中に入る時間をカリキュラム以外で作るとしたら、無理にこの中に入れなくても別に設定していてもいいのかと思いました。

三浦 今の提案は一つの考え方かと思いました。ありがとうございました。学校カリキュラムは日程が自由に動くものではないと思います。今日の段階で、ある程度は学校が考えてくださった流れを尊重しながら、どの部分でどういうご協力をわれわれがするか、日取りもあらかじめ決めたいと思います。本日はもう8月下旬ですので9月半ばから始まるカリキュラムへのお返事は、ここでできるものはしたいと考えます。

今、船戸さんからご提案のあった件ですけれども、これ以上膨らますことの難しさもありますが、一方で事務局の方で地域を回っていて、大宮区のコミュニティー課ともコンタクトをとっていますので、地域の組織にもご参加いただくとか、形は色々あるでしょうけれども、まち歩きのことは区民会議もやっているようですから区民会議と組んでみるとか、区画整理事務所の協力を得る日があっていいかもしれませんし。ここで結論が出ることはありませんが、研究してみたいと思います。

他に、ご意見、ご提案などいかがでしょうか.....

高野 カリキュラムの「人」のところで「妊婦さん」とありますが、ベビーカーで乳幼児をお連れの親御さんや、幼稚園・保育園の子どもさんと一緒に親御さんとかの想定があってもよろしいのかなと思いました。

三浦 それでは、ご提案いただいたカリキュラム案を素材に順次確認していきたいのですが。まず、1番「ふれる」4時間の中のオリエンテーションのうちの9月15日、こちらは先生と児童の関係の中で授業を立ち上げていただくことでよろしいですね。そして、9月18日、こちらに盲導犬を使ってらっしゃる方、視覚に障害のある方が入るのですね。

桜木小 9月18日は学校の関係でお願いできた方がいて、視覚障害があつて盲導犬を使っている方にお話をさせていただきます。ここだけは決まっています。

三浦 9月25日には疑似体験も含むのですか。妊婦さんは、インタビューですか、ワークショップ形式ですか。9月30日の「追究する」とどういう違いがあるのですか。

桜木小 まだどういう方に来ていただけるかわからない段階で書きましたので。もし、9月25日に書いたような方に来ていただけるなら、9月30日はまた別の方に来ていただければいいかと思えます。

三浦 9月18日、25日、28日は集中的に日程が組まれているのですね。25日か30日のどちらかにご協力できれば体制が組めると考えていいですか。

桜木小 最初の考えでは25日に話を聞いて、「つかむ」の28日で体験をする、そして自分たちの体験を通して出てきた疑問を30日のところで質問できればいいと考えていました。

三浦 そうすると、9月18日は既に決まっていて、25日はゲストティーチャーが決まっていないので募集中ということですね。

社会福祉協議会や社会福祉事業団の方で、ここの25日、引き続いて28日、特に28日の想定でご協力は可能ですか。体験に対して正しい指導や知識が大事だと思いますので。疑似体験は諸刃の剣ですし、危険性もありますので、私も可能ならお手伝いしたいと思います。

船戸 できるだけ空けるように調整します。対象者の方をどのように探してくるか、どこが誰に頼むかということですね。

三浦 そうすると25日、28日をあわせて、社会福祉協議会や社会福祉事業団を中心に事務局を入れて。地域のご高齢の方とか、PTAでまだ小さい妹さんや弟さんがいるお母さんお父さんがいらっしゃると思うので、そういう方に頼むこともできますね。

桜木小 30日の方を考えていたのですけれども。

三浦 今は30日を切り離して考えているのですが、9月30日は、ぜひ河合委員、長根委員、田口委員、宮部委員などの各団体にご協力いただきながら、疑似体験後の情報提供をしていくことが必要かと思えます。30日の設定で日程を調整していただく、ただこの場では難しいかもしれないので、それぞれの団体に持ち返っていただいてご検討いただくということでもよろしいですか。

河合 障害者、一人でもいいですか。

三浦 どういう形がいいですか。1学年2クラスですよ。

桜木小 30日に関しては、いいと思えますが。

三浦 でも、何人かご協力いただける方がいらっしゃれば、非常に充実するのではないのでしょうか。25日にご協力いただける方はあわせて30日も、ということについては、事務局サイドでもそういう含みで考えていくということでもよろしいでしょうか。

それから、10月16日は学校独自で取り組んでいくということでもよろしいですか。保護者と一緒に社会見学的に校外に出るということですが、新都心には「ふれあいプラザ」というのがありまして、そこのボランティアのみなさんも熱心に対応していただけます。

続けて11月2日ですが、ここが「まちを歩く」ということで、メインになるわけです。先ほ

ど大宮駅西口まちづくりの状況を提供してもらったのは、この地区をどう歩くかに関係するので、校外活動なのであまり危険を伴ってはいけませんが、障害をお持ちの方が普段感じている危険を感じていただくことも逆に必要だったりしますので、コース取りが問題になります。10月30日に加えてのお願いになりますが、河合委員、長根委員、田口委員、宮部委員など各団体の皆様にもお願いしたいと思います。それに部会を挙げての取り組みになりますので、部会のみならず、公募委員の方にも参加していただきたいと思います。それに、バリアフリー部会の委員の方、推進協議会の委員の方にお声かけいただいて、参加いただくのもよろしいかなと思います。

國島 コースはいくつかに分けるのですか。

三浦 それを考えないといけませんね。昨年度は、全然違う方向に歩いてしまって、それぞれに収穫はあったのですが、まとめがうまくいかなかったような印象がありました。今回、桜木小学校の位置から西に行くというコース取りは考えにくいと思います。駅の方に向かうのではないかと考えているのですが。ただ、一度に同じ方向に歩くと路上に人間が溢れてしまいますから、いくつかのグループに分かれて固まらないようにしなければなりません。ここもご協力する用意がありますので、学校の先生のお時間があるときに下見に歩いてみるといいかと思います。今まではそういうことがなくやってきまして、学校で決めたコースに参加するという形でした。先生方と一緒に、事前に私や社会福祉事業団の方、社会福祉協議会の方で歩いてみていいかと思います。

古市 まち歩きの日、どのくらいの時間が確保されていますか。授業時間で2時間弱くらいですと、実際に歩く時間は正味1時間くらいになりますね。学校から目的地まで行って戻ってくるとなると移動距離は1キロくらいになりますか。私どもも18年度に大宮駅東口で大宮小学校と大宮北小学校の皆さんのご協力をいただいたときに、10人くらいのグループで何方向かに分かれて歩きました。1.2キロくらいの距離まで出て約1時間でした。そんな形で一度想定をさせていただければと思いました。

三浦 そういう時間的制約もありますので。去年、大宮小学校をスタートに大宮駅構内の券売機の前まで行って改札を見て帰って来るくらいでぎりぎりだったので、長根委員のご提案であるホームまで降りるとするのは時間がかかってしまいますから、日を改めるとかになりそうです。それでは、日程は11月2日でよろしいですか。お昼までの時間を使うということですね。

桜木小 午前9時30分から11時30分まで、2時間です。

三浦 続いて「追究する」の「これからの町づくりを考える」は、子どもたちの学びを深めるカリキュラムですが、この間に、われわれというか地域の大人とのディスカッションのようなものやってもいいかと思います。やったことがなかったのですが、発表を聞きに行くと子どもたちはよく見ているな、よく考えているなということでレポートして終わりなのですが、大人が学びを共有することやってから発表会に臨む方がおもしろいという気がしますので、考えてみましょう。

最後の「広げる」6時間の「発表」が1月26日ですね。火曜日です。時間はどうなっていますか。午前か午後かだけでも確認できれば助かります。

これで全体の大きな流れについて日程も含めて見てきたわけですが、さらに振り返ってご意見、ご要望、ご質問等ございますか。

石井 妊婦さんの体験、疑似体験ですが、保健センターで父親学級をやっています。ある程度の重りをお父さんに着けてもらって、これからお父さんになる方に体験してもらうというのをやっています。大宮区の保健センターにお話してみるのも一つかと思いました。

三浦 ありがとうございます。個別の課題は残っておりますけれども、本日の部会は時間の制約も

ありますので、大きな流れはご了解いただくということでお願いいたします。学校からもご提案をいただいてありがとうございました。事務局の方で、これらを決定事項と懸案事項にまとめてもらって、また一堂に会するのは難しいと思いますので、必要に応じて連絡を取って協議して決めていければと思います。学校からも疑問点とか協力依頼とかがあれば、事務局の方にご連絡をいただいて、われわれの方でも地域とか協力機関などとの連絡調整を行っていきたいと思います。

ここで議事を確認しますと、3の「桜木小学校での展開」と、4の「取り組み体制の具体化」のところを続けて進めさせていただいたこととなります。船戸さんからのご提案など、学校カリキュラムから離れての取り組みの課題などは、部会として日程を用意できませんけれども、有志参加という形で企画が起これば随時連絡を取り合って実行していければと思います。皆様方には引き続きご協力をお願いいたします。

### 3 その他

三浦 では、その他で何かございましたら……

長根 資料を入れさせていただきました。今、ハイブリッド車というのがありまして、私たち、目の見えない者にとっては、それから聴覚障害の方やお年寄りの方もそうだと思うのですが、音のしない車というのは非常に怖いのです。車がそばに来て、来たか来ないかわからないということです。そこでハイブリッド車に音を出してほしいということを障害者団体から要望しまして、厚生労働省はじめ色々ところで検討会が開かれて、これは大変なことだと、何とか方向付けをしなければいけないということで検討しているようです。新聞記事をお読みいただければわかると思いますが、とにかく音のしない車は怖いということです。目の見えない者にとってだけでなく、怖いと思っている者がたくさんいるので、報告させていただきました。

三浦 この問題は全国ニュースでも流れて、認知されつつある領域だろうと思います。プリウスができて10年以上ですか。多少指摘があったのですが、なかなか台数が少なくて社会問題までにはなっていなかったのです。ここにきて国土交通省も問題意識を持った段階です。ありがとうございました。

……学校のご予定がわかったのでしょうか。

桜木小 先ほどの1月26日の「発表」ですが、この日は学校公開日で、5時間目の午後1時40分から2時30分までにしたいと思います。

三浦 では、そのようにご了解いただければと思います。

これで用意された議事は全て終了いたしました。何かご発言、ご意見等あればお受けいたします。いかかでしょうか……

桜木小 アイマスクとか車椅子とか、妊婦グッズなどはお借りできるのでしょうか。

山内 社会福祉協議会にはアイマスクと白杖、車椅子はあるので、予約が入っていなければ対応できると思います。妊婦グッズはありませんが、高齢者の疑似体験セットはあります。

三浦 では、よろしいでしょうか。お暑い中、またお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。これで終了させていただきたいと思います。進行を事務局にお返しします。

### 4 閉会

事務局 皆様、長い時間に渡りまして活発なご議論をいただき、また円滑な議事の運営にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。今後もこの取り組みへのご協力をお願いしたいと



思います。以上を持ちまして、第7回福祉のまちづくりモデル地区推進部会を閉会とさせていただきます。

以上